商工連ニュース SHO-KOREN NEWS

No.251
R4.10月号

千葉県商工会連合会 発行人 秦　重悦　〒260-0013千葉県千葉市中央区中央4丁目16番1号 TEL043-305-5222
ホームページアドレス https://www.chibaken.or.jp　メールアドレス post@chibaken.or.jp

CONTENTS

◇日本政策金融公庫と事業承継支援にかかる連携スキームを構築
◇県連合会に電話相談窓口設置中！
◇bayfm78に秦会長が生出演
◇R４年度関東ブロック商工会女性部主張発表大会で最優秀賞を受賞！
◇千葉県最低賃金改正のお知らせ
◇労働保険未手続事業一掃強化期間
◇支援の最前線No.10 印西市 「お食事 宴会処 まるみや」

日本政策金融公庫と事業承継支援に係る連携スキームを構築

千葉県商工会連合会は７月１日、日本政策金融公庫の千葉県内４支店（千葉、館山、松戸、船橋）と「事業承継支援に関する覚書」を締結し、事業承継支援に係る連携スキームを構築しました。

本スキームは県内40商工会が会員企業の中から「事業を譲り渡したい事業者」のニーズを掘り起こし、日本政策金融公庫全国152支店のネットワークを活用して「事業を譲り受けたい事業者」に紹介（マッチング）するものです（参考１）。マッチングに際しては、第三者による事業承継を支援する取組として日本政策金融公庫が実践している「事業承継マッチング支援」を活用します。（参考２）

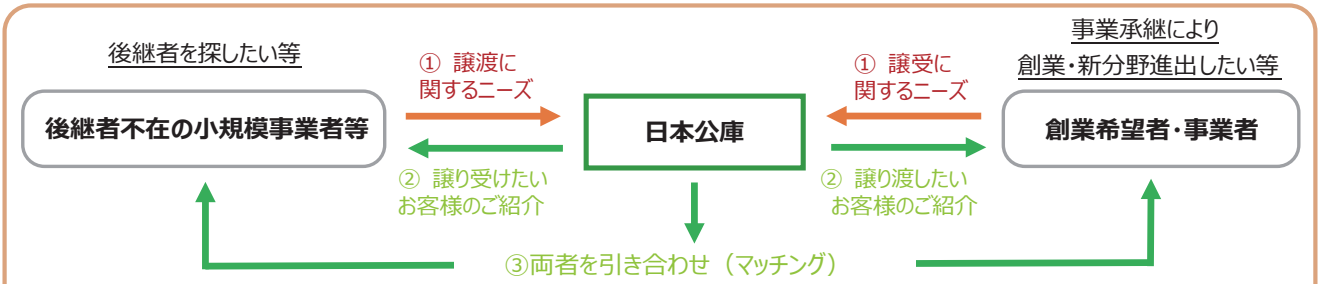
昨年12月に発表された帝国データバンク千葉支店の「『後継者不在企業』動向調査」によると、2021年の千葉県の後継者不在企業の割合は58.8％と３年連続で低下し、2011年の調査開始以降で最低となる等、一部で改善がみられるものの、コロナ禍の長期化やウクライナ危機、原材料高の影響等で事業者の休廃業が高水準で推移する中、依然として事業承継は喫緊の課題となっています。

千葉県商工会連合会及び県内40商工会は日本政策金融公庫と連携し、地域で必要とされる事業を次代につなぐため、千葉県における会員事業者の皆さまの事業承継支援に積極的に取り組んでまいります。

日本政策金融公庫千葉支店国民生活事業
立元 博 事業統括（左）　県連合会 秦 重悦 会長（右）

（参考１）連携スキームのイメージ図

（参考２）日本公庫の「事業承継マッチング支援」の概要



※１　本取組は原則として、日本公庫のお取引先を対象としています（創業希望者を除きます。）。ただし、日本公庫とお取引がない方であっても、商工会議所・商工会、税理士等の中小企業・小規模事業者の支援に取り組む団体又は専門家からの紹介により、本取組を利用することが可能です。
※２　引き合わせ後に生じる事業・株式譲渡の手続きにおいて、専門家の支援が必要な場合は、事業承継・引継ぎ支援センター等を通じて専門家をご紹介します。

「事業承継マッチング支援」利用についての詳細は、日本公庫ホームページをご覧ください。
ホームページリンク：https://www.jfc.go.jp/n/finance/jigyosyokei/matching/index.html

県連合会に電話相談窓口を設置中！

ご相談はこちらから
☎043-305-5980 9時30分から15時30分(土日祝日除く)
千葉県商工会連合会 令和3年度事業環境変化対応型支援事業

会員事業者さま向けに、電話相談窓口を毎日設置しています。
経営に関するお悩みなら何でも、専門家の先生へご相談いただけます。

専門家には事業計画などの固い相談しかできないと思われるかもしれませんが、

・新しい商品の提案が取引先からあったけど、売れるかどうかわからない。
　最初はどの程度仕入れたらいいのかな？
・売上を増やすために、明日から簡単にできる取組はないかな？
・お客様にもっと来店してもらうコツはないかな？
・従業員を雇いたいけど、なにか気をつけることはあるかな？
・補助金や助成金など、活用できる資金について教えてもらえないかな？

といった日々の商売で感じた疑問やお悩みについてお気軽にご相談ください。

直通のお電話番号は　043−305−5980

遠隔ビデオ相談をご希望の方は最寄りの商工会までご相談ください。

秦会長がbayfm78（ベイエフエム）の生放送に出演しました

8月31日（水）に、bayfm78の生放送番組「miracle!!」内で、話題のスポットや商品・サービスを紹介する「プレシャスレポート」コーナーに、秦会長が出演しました。

当日は、午前11時頃から、生放送中のbayfm78のスタジオと本会をつなぎ、秦会長がレポーターの作田つばささんからのインタビューに答える形式にて、商工会の業務内容や支援制度等についての紹介や事業環境変化対応型支援事業の周知を行いました。

ラジオの生放送でのＰＲ活動は、本会として初めての試みでしたが、商工会という組織を多くの方に知っていただく良い機会となりました。

左：レポーターの作田つばささん　　右：秦会長

令和４年度関東ブロック商工会女性部主張発表大会で最優秀賞を受賞！

７月６日、関東一都十県から約1000人の女性部員が集い、山梨県富士河口湖町の河口湖ステラシアターにおいて、関東ブロック商工会女性部交流研修会（山梨大会）が開催されました。

主張発表大会では、一都十県の代表者11名が日頃の女性部活動について熱く語りました。

わが県代表の髙倉かつ江さん（南房総市朝夷）は、女性部活動と地域振興・まちづくりをテーマに地元南房総市で生産量日本一の「カレンデュラ」を使った商品開発の取り組みについて発表し見事最優秀賞に輝きました。

最優秀賞を受賞した髙倉かつ江さんは、関東ブロックの代表として10月25日に宮城県で開催される第23回商工会女性部全国大会inみやぎの主張発表大会に出場します。

主張発表大会の様子

県庁にて
（左：千葉県商工労働部経済政策課長 髙橋 輝子
中央：髙倉 かつ江さん　右：神﨑県女性連会長）

千葉県最低賃金改正のお知らせ

令和４年10月１日から

時間額 984円

(従来の953円から31円引上げ)

令和４年10月１日から千葉県最低賃金が時間額984円に改正されました。

※　最低賃金の詳しい内容につきましては、千葉労働局労働基準部賃金室（☎043－221－2328）又は最寄の労働基準監督署にお問い合わせください。

☆　**千葉労働局ＨＰ**
https://jsite.mhlw.go.jp/chiba-roudoukyoku/

11月～12月は「労働保険未手続事業一掃強化期間」

労働保険は、労災保険と雇用保険の総称です。農林水産の事業の使用労働者５人未満の個人事業を除き、労働者を１人でも使用する事業主は、労働保険徴収法により労働保険の加入手続をしなければならないことになっています。

労働保険は、働く人が労働災害を被った時、失業したときに所定の保険給付を行う制度です。パートタイム労働者・派遣労働者についても一定の要件により雇用保険が適用されます。

未手続事業の事業主は至急、加入手続をしてください。

詳しくは、千葉労働局労働保険徴収課（TEL：043－221－4317）又は、最寄りの労働基準監督署、ハローワーク（公共職業安定所）にお尋ねください。

＼商売を応援します！／

「支援の最前線」No.10 印西市「お食事 宴会処 まるみや」

～支援を受けたみなさまに直撃インタビュー。支援内容をお伝えします。～

お食事処

まるみや店舗外観

稲穂の波が一面に続くのどかな旧本埜村地区、決して交通の便が良いとは言えないこの場所に平日昼時でも満席の活気あふれる店がある。海鮮料理屋「まるみや」である。今回は代表の宮内国臣さんに話を伺った。

どれも規格外!?が人気の秘密

まるみやに来てまず驚かされるのが店の規模である。約200名が利用可能な宴会場を備え、食事処と鮮魚等の小売店舗を併設している。そして席で目にするのが本のように厚いメニュー表である。100種以上が載るメニュー表はバラエティに富み、選ぶ楽しみは勿論のこと、再来店時はこれを食べてみたいという気持ちにさせてくれる。定食はどれもボリューム満点で、人気のスペシャル定食は、厚みのあるお刺身に大粒でふわふわジューシーなかきフライとかさごの煮付、小鉢もついている。リーズナブルな価格も魅力である。刺身にフライに煮魚と、素材を活かした調理ができるのは、鮮魚小売りをメインにしてきたまるみやの強みである。

人気のスペシャル定食

伊勢海老カレー定食

銚子港で仕入れた鮮魚の小売りをしていた先代が、この地で料理店と鮮魚店に業態変更をしたのは昭和50年のこと。平成元年には現代表の宮内国臣さんが事業を承継した。

コロナ禍のここ数年は大変だったろうと察するのが普通であるが、売上が落ちたのは2020年の最初の緊急事態宣言の時だけだった。こういう時こそお客様に喜んでもらおうとそれまで3,000円で販売していた特大うなぎを1,000円で売り始めた。普通に考えると大赤字だが、まるみやの場合は違った。うなぎだけを買いに来る方より、店内で食事をした帰りに買ってくださる方がほとんどだったという。出番のなくなった宴会場は食堂に開放し、密を避けたいお客様から好評となり、店が賑わうことで従業員のモチベーションも保つことができた。

10年後を見据えることで見えてくる商売のヒント

創業64年となるまるみやだが、コロナ禍だけでなく店舗の全焼や東日本大震災での半壊等これまでの道は平坦なものではなかった。それでも大変だったとは思っていないという宮内代表の頭に常にあるのは、『目先の売上に一喜一憂せず、今いるお客様が10年後何を望んでいるかを想像する』である。それは『お客様とともに』というまるみやの理念そのものであり、それゆえ世代を超えた常連客も多い。近年では高齢化してきた方も使いやすいようにと、持続化補助金を利用し畳用の椅子を宴会場に取り入れ、喜びの声をいただいた。

畳用の椅子を取り入れた宴会場（25名用）

トップダウンよりボトムアップ

まるみやの活気の源は従業員の力が大きいそうだ。1日を過ごす時間の長い職場がどのような場所かがその人の人生を左右するかもしれない。その思いから、自分の仕事は従業員が快適に楽しく働ける場所を作ることだと、従業員とのコミュニケーションは日々欠かさない。長く勤める従業員も多いが、外国人雇用にも力を入れており、現在ベトナム人が2名、来年の新卒内定者も決まっている。コロナ禍で職を失ったベトナム人を雇い始めたことがきっかけだったが、本人の経験になればと希望を取り入れ、ベトナムコーヒーがメニューに加わった。

まるみやでは現在、福利厚生の一環として、商工会の福祉共済を正社員・パートに関わらず従業員全員に加入いただいている。

商工会との関わり

商工会との付き合いは20代の青年部の頃からと長く、福祉共済以外でも利用機会は多い。持続化補助金や事業再構築補助金等申請書の作成も自らこなす宮内代表だが、不明点の確認や実行フォロー等、気軽に聞けてレスポンスの早い商工会と指導員の存在を頼りにしていただいている。

地域に貢献できる店を目指して

宮内代表が目指すのはまるみやが創業100年を超える店になることである。市街化調整区域で過疎化が進むこの地域で、長く愛される店になるには、地域活性化や地域貢献できるサービスを取り入れることが必須と考えている。高齢化していく地元農家の納品先にと、農産物仕入れを始め、店頭での野菜販売を始めたのもそのひとつである。お客様、従業員への思いやりを大事にしてきたまるみやは、今後も地域を盛り上げていってくれるだろう。

担当経営指導員からひとこと

印西市商工会　経営指導員
須之内　透雄さん

まるみやさんは地元のみならず、遠方からもお客様が訪れる人気店として繁盛していますが、店主の宮内さんの様々な工夫や、常に先を見た営業戦略が功を奏しているのだと思います。

商工会とは付き合いも長く、何かあればアドバイスを受けられる機関として利用いただいていますが、レスポンスのスピードが大事と感じています。今後もベースにある信頼関係を日々の支援で育むと共に、事業所に有益な支援を行っていきたいです。

お食事　宴会処
まるみや

お食事 宴会処 まるみや

〒270-2324
千葉県印西市中根855-9
（本埜郵便局となり）
TEL. 0476-97-1188
ホームページ：https://marumiya971188.jp/
（オンライン販売あり）

まるみやのおせち